



彼岸花

9月号

編集・発行
熊日多良木販売センター
(代)小出忠紹 小出堅太郎
石田敏郎 岩崎稔
球磨郡多良木町大字多良木356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/

中島一義さん、志保さん

多良木町久米

「50年は永いようで、アツという間だった」と語る中島さん夫婦。戦争による食糧難や、戦死したお父様に代わり、一家を支えるために無我夢中で頑張ってきた、現在は「平和な日本で良かった」と思われるそうです。

10年前に遺族会の一員として、パプアニューギニアを訪れ、慰霊祭を行ったのも、思い出の一つです。また、「お孫さんが一人前になるまでは、農業を頑張ります」と話す中島さんの夢は、世界一周の船旅だそうです。



苦楽を共に半世紀

第51回熊日金婚夫婦表彰式が9月10日
あさぎり町ポッポー館、多良木町多目的研修センターで行われました。
伊豆英一社長(代理)から祝辞と表彰状、記念品が贈られました。
多良木町=43組、あさぎり町岡原=9組

山下隆男さん、保子さん

あさぎり町岡原南

「幾山河 越え去りて来し 今日
の祝 果てなき旅路 妻とたどらん」

と、ご主人の隆男さんに金婚式当日の気持ちを短歌で表現して頂きました。「道程」、長い道のりでした。いろいろな人の世話にもなったし、支えとか励ましがあった50年でした。幾つもの喜怒哀楽があり、また、妻のかなりの協力、支えもあり、ここまでこれました。また私についてきてくれました。糟糠の妻であったと感謝しています。これからは、一日一日を大切に過ごして行きたいと思っております。



淵田重徳さん、サダメさん

多良木町多良木

毎日野菜の世話をするのが楽しみ、と話された淵田さんご夫婦。重徳さんは、役場を退職された後も、選挙管理委員や民生委員など、退職された後もお忙しかったそうです。また、趣味も多く、夏場は海での魚釣り、冬は山に狩りにと楽しまれたそうです。奥様のサダメさんも、ママさんバレーや、パッチワーク、グラウンドゴルフなど、ご夫婦共に趣味が多彩です。重徳さんは「これからは、健康に気をつけながら夫婦仲良く元気で過ごしていきたいですね」と話されました。



源島利春さん、カツさん

多良木町黒肥地

「金婚を二人で迎えられたのがよかった」と話された源島さん夫婦。ご主人の利春さんは、蜂を取りに行くのが楽しみで、多い時には13キロも取ってこられたそうです。奥様のカツさんは、ご近所の方とお話したり、集まってお茶を飲んだりするのが、今の楽しみだそうです。今後の夢はと聞いたところ、「のんびりと野菜作りでもしながら、2人とも健康で長生きしたいな」と話されました。



「たらぎ社協福祉まつり」賑わう

今年で8回目となる「たらぎ社協福祉まつり」が、9月6日に多良木町多目的研修センターにて開催されました。

記念式典では、今年90歳(卒寿)を迎えられたのが49名。その一人である荒川一治さんに感想をお聞きすると「ここまできたら、100歳を目指します」と力強く語っておられました。また、歌と踊りの祭典では、町内外の4組のゲストによるパフォーマンスに参加者は大満足の表情を、浮かべておられました。

(写真:荒川一治さん)



糸田由郎氏と山中美智代さんの民謡発表



「劇団きゃあ」の肥後にわか

「木希記」のいいこと3つを「寝る前に今日か」メモしてみませんか。そんな話を聞いて半年。たまに面倒かたりたりして、小さな字で書き込むのを続けています。変哲もない暮らしの中、ツツ「久しぶりの雨で水まきせずには済まな」交差点で車が止まって横断させてくれたなど、他人様からはバカにされそうなることを書き連ねる日もありますが、3つを思い出すのが大変な日もありますが、10項目以上スラスラ出てくることも。1週間分くらい読み返すと、人生捨てたものじゃない、小さな幸せって本当にあるんだと思えるから不思議な交差点でうれしかった体験はハンドルの握った際に役立ちました。ごく普通に止めただけなのに、中年男性が軽く会釈して通っていくのです。こっちは心が豊かになった気がしました。月が美しい。なんのつもりにもありません。記事が多良木や岡原の「たらぎ」といってもよいか。周囲を見回してみませ

くまよう すまいる 演奏会



(バレエを見ながら素敵な演奏を聴き入る生徒さん)

9月10日(木)、芸術家等派遣事業として、本校に熊本ミュージックアーティストの方々が来校され、すてきな音楽を聴かせていただきました。コントラバスやヴァイオリン、ヴィオラ、ピア

ノの4つの楽器の特徴や聴きどころをクイズを交えながら紹介され、楽器にも親しみを持ちながら演奏を楽しむことができました。「小さな世界」から始まり、「崖の上のポニョ」「リベルタンゴ」などクラシック曲やアニメソングなど弦楽器のもつ軽やかさと優しい音色に合わせて、自然に体を動かしたり歌ったりと会場が一つになりました。また、とっておきの「お楽しみ」として、バレリーナが登場し、美しい踊りを見せてくれました。初めて出会うバレエに、ドキドキしながらも笑顔が広がり、まるで自分がバレリーナになったような気分になることができ、楽しい演奏会となりました。(写真・原稿：球磨養護学校提供)



(写真後列の5名は、多良木中2年の職場体験学習として参加)

光台寺保育園

ひまわり組 13名 東 玲子先生
何事も楽しみながら、毎日過ごしています。自分たちで、意欲的に行動してくれるので楽しいです。

コーラスは若さの秘訣 楽しいなあー

(毎週月曜日が待ち遠しい皆さん)



毎週月曜日に活動されている女性コーラスグループ「ジョイフルのぎく」(代表：黒木雷さん、指導：山中美智代さん、伴奏：石尾ゆかりさん)を紹介いたします。前代表で、創始者の池井リツさんが15年前に立ち

あげられ、現在は25名が参加しています。池井さんのことを、メンバーの源揖美さんと岸本順子さんは「生きていく中で、こういう風に年齢を重ねたいと思わせる、憧れの先輩です」と話されます。現在、11月に開催される「合唱会くまがわ」に向けて、練習に励んでいます。皆仲良く、楽しく、笑顔、笑いの絶えないグループです。

地域の方に見守られて

毎年、多良木小学校(栃原秀明校長)で、交通安全等に関する標語を募集して、同小の校区内に立てかけてありますが、その中でちょっと目にとまった標語を紹介します。「安心だ 今日区長さん ありがとう」。4年生の城本恵史郎君の作品ですが「僕たちは、区長さんや地域の方に見守られているから、安全に登下校出来るんだな〜」と感じて書いたそうです。これからも「感謝の気持ちをこめて、きちんと挨拶をして登下校したいです」と話してくれました。同地区の長田勝幸区長さんは「子どもは口では言わないけど、心では感じてくれてるんだな〜」と喜んでおられました。(町民体育館前に設置された標語と城本君)



遠征用のバス購入、準備万端

多良木高校 サッカー部

多良木高校(斉藤健二郎校長)のサッカー部(甲斐郁文部長)部員17名が全国高校サッカー選手権大会熊本県予選にむけ頑張っています。保護者会(白川幸一会長)でもこのほど遠征用のバスを購入され、生徒たちもはりきっています。監督の岩村貴久さんは「4月から今月まで50試合ほど行ってきましたが、バスを購入していただき感謝しています。素晴らしい環境のなかで部活動ができるので、これから多良木高校の名が轟くようなチームをつくりたい。だからまず入学して入部してもらいたい」と願っておられました。またキャプテンの小川直宜くんは「夏休みもかなり走りこみ、きつい練習にも耐え、遠征にも行き頑張ってきたので、その成果を県予選で試してみたい。保護者に感謝の気持ちを持ってプレーし、そして勝ちたい」と力強く語ってくれました。

(写真後列左：岩村貴久監督、後列右：森野佑介コーチ)



硬式テニス あいあいスポーツたむぎ

昨年の4月から開講している「硬式テニス」。【責任者：竹中忍さん】参加者は、大人25名、子供7名の計32名です。責任者：竹中忍さん コーチの中村陽子さんは、「軟式と違い硬式は、スピード感が全然違うし、ボールの跳ね方なども違うので難しい。子供達が上達していくのを見てるのが嬉しい。最初はネットを越えることが出来なかったけど、やっていくうちにネットを越えたりするので、成長しているなあと思います」。参加者の河北有朋君は、「難しいけど分かりやすく教えてもらえるので楽しい」と話してくれました。9月はまだ暑いので、活動は毎週火曜日19時から、毎週日曜日の10時から週2回。10月からは、毎週土曜日13時から、毎週日曜日の10時から行います。運動靴だけあればラケットとボールは貸し出して頂けるそうです。